

週間感染症情報

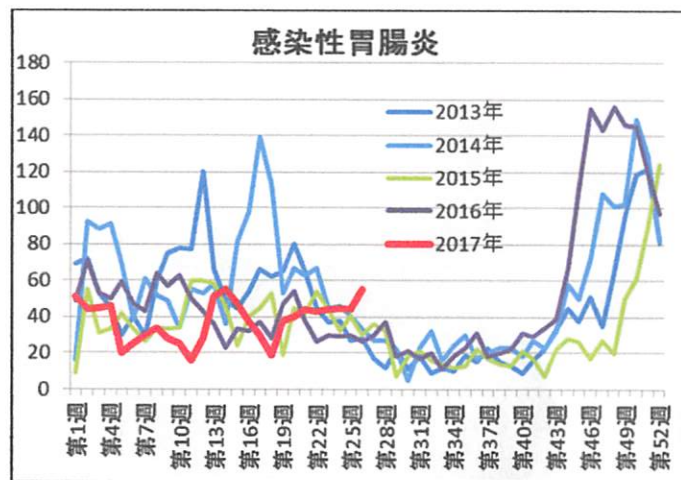
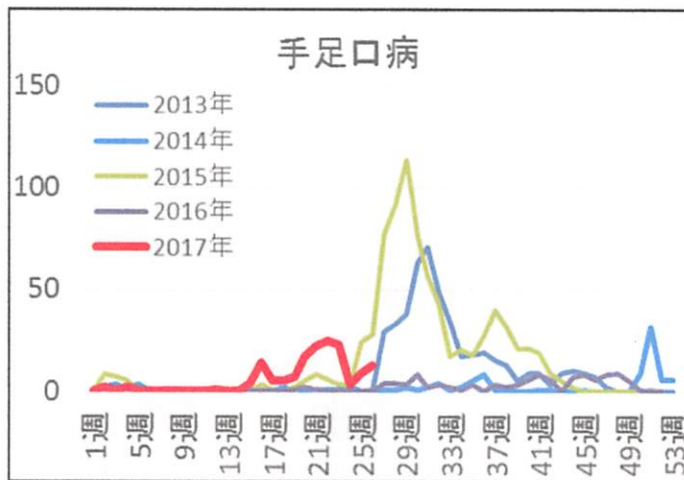
2017年26週 2017年6月26日より2017年7月2日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	
ムンプス(おたふくかぜ)	2
百日咳	
溶連菌感染症	12
手足口病	13
ヘルパンギーナ	14
伝染性紅斑	
感染性胃腸炎	55
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	15
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	8
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	
インフルエンザ(臨床診断含む)	
インフルエンザA	
インフルエンザB	
A+B	

7月2日は当番医でした。小児科は23人、内科12人合計36人でした。午前中は小児科の初診の発熱児が多かったです。急に蒸し暑くなり、熱中症が増えています。暑さに慣れるのには2週間程度かかります。これから8月初めにかけて熱中症が増えます。少しぼんやりしているなど意識障害があれば、急激に悪化することがあるので受診しましょう。熱中症は予防が大切です。無理をせず、こまめに水分を摂取しましょう。

先週後半より、高熱のヘルパンギーナと思われる年少児が増えています。また、今年2回目の手足口病の症例もあり、いわゆる夏かぜ症候群が増えています。西日本では、手足口病の流行があり、今年は大きな流行になりそうです。感染性胃腸炎は、岡山市の保育園でウイルス性胃腸炎の流行がありました。1-2歳児は半数近く患いました。また、便培養で、サルモネラO8、サルモネラO7、病原性大腸菌O25、カンピロバクターが1例ずつありました。発熱、腹痛、血便などがあれば、細菌性胃腸炎を疑い便培養をしています。増えてきました。周囲の流行状況や、摂食歴など問診が大切です。

頭しらみ、チャドクガ皮膚炎などを見かけるようになりました。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)